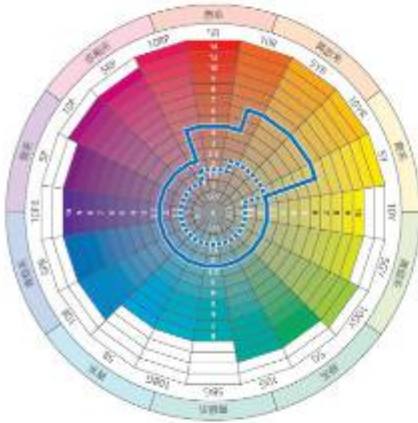


# 別表 I

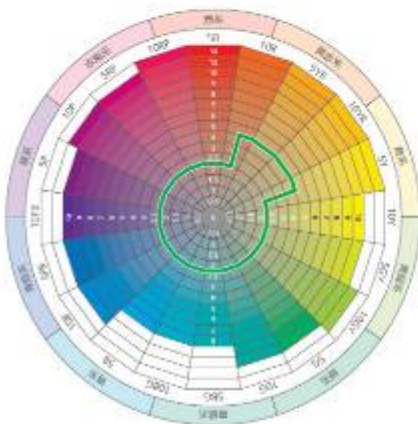
一般地区 緑との共生ゾーン外  
(特定大規模建築物以外)

重点地区 中心市街地環境整備地区  
(特定大規模建築物以外)

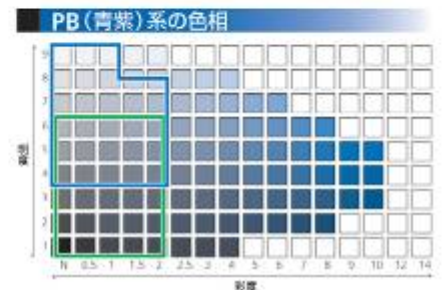
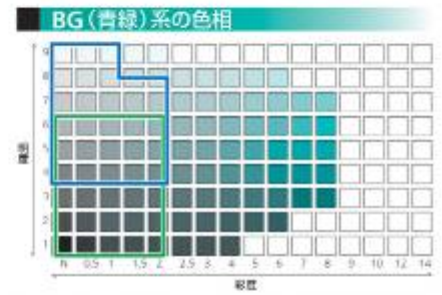
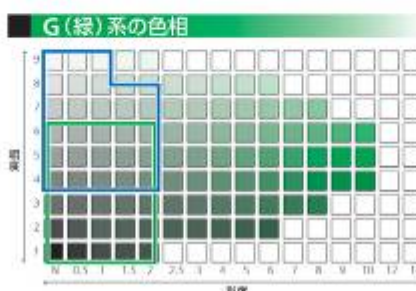
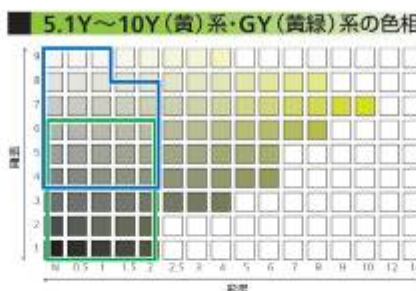
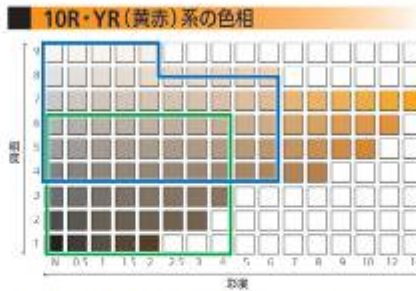
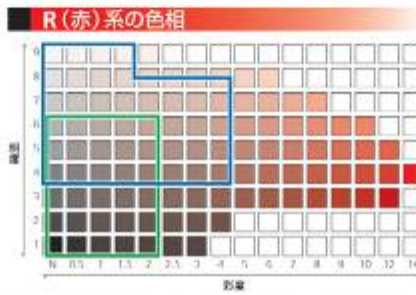
基準の適用部位・面積	色相	明度	彩度
外壁基本色	0.0R ~ 9.9R	4.0以上 8.5未満の場合	4.0以下
		8.5以上の場合	1.5以下
	0.0YR ~ 5.0Y	4.0以上 8.5未満の場合	6.0以下
		8.5以上の場合	2.0以下
屋根色	0YR ~ 5.0Y その他	4.0以上 8.5未満の場合	2.0以下
		8.5以上の場合	1.0以下
		6.0以下	4.0以下
			2.0以下



■ 外壁基本色の使用可能範囲  
(実線: 明度 4.0以上 8.5未満, 点線: 明度 8.5以上)



■ 屋根色の使用可能範囲 (明度 6.0 以下)



## 凡例

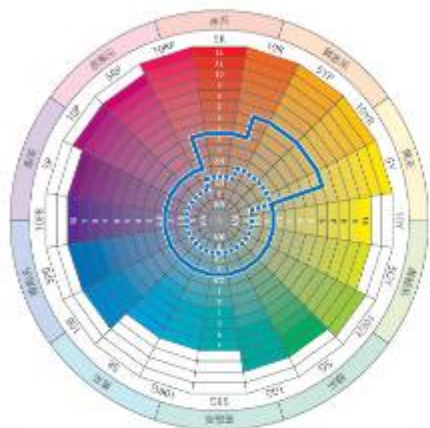
- 外壁基本色の使用可能範囲  
(外壁の4/5はこの範囲から選択)
- 屋根色の使用可能範囲

## 別表 II

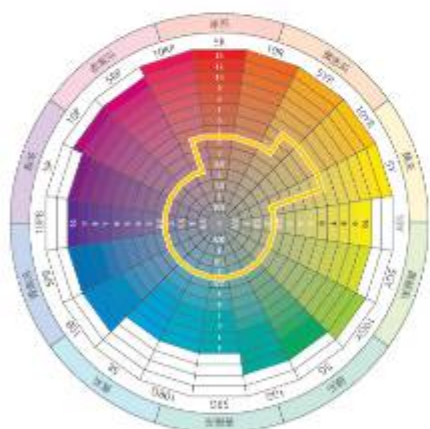
一般地区 緑との共生ゾーン外  
(特定大規模建築物)

重点地区 中心市街地環境整備地区  
(特定大規模建築物)

基準の適用部位・面積	色相	明度	彩度
外壁基本色	0.0R ~ 4.9YR	4.0 以上 8.5 未満の場合 8.5 以上の場合	4.0 以下 1.5 以下
	5.0YR ~ 5.0Y	4.0 以上 8.5 未満の場合 8.5 以上の場合	6.0 以下 2.0 以下
	その他	4.0 以上 8.5 未満の場合 8.5 以上の場合	2.0 以下 1.0 以下
強調色	0.0R ~ 4.9YR	—	4.0 以下
	5.0YR ~ 5.0Y		6.0 以下
	その他		2.0 以下



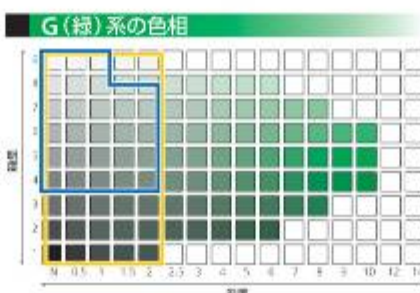
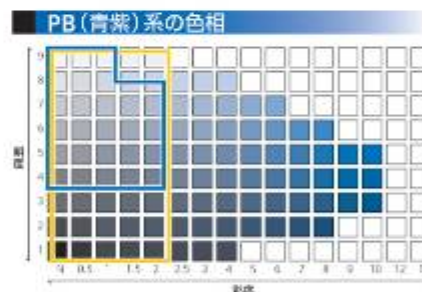
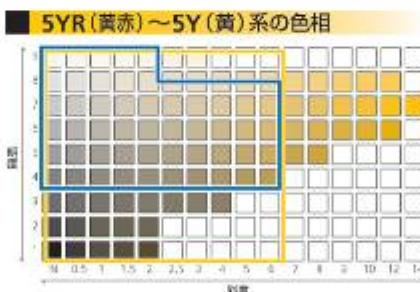
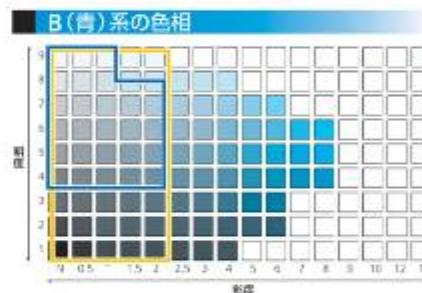
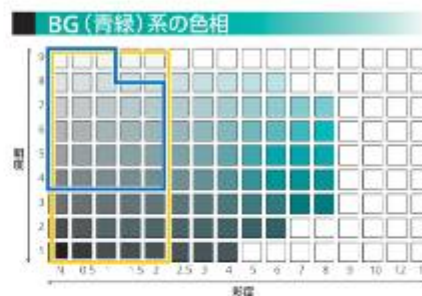
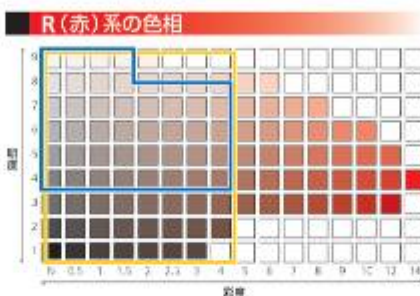
■外壁基本色の使用可能範囲  
(実線：明度 4.0 以上 8.5 未満、点線：明度 8.5 以上)



■外壁強調色の使用可能範囲

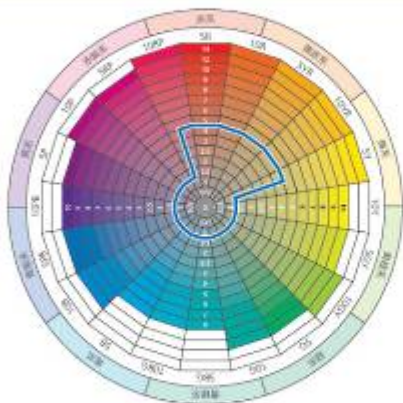
### 凡例

- 外壁基本色の使用可能範囲  
(外壁の4/5はこの範囲から選択)
- 外壁強調色の使用可能範囲  
(外壁の1/5以下で使用可能)

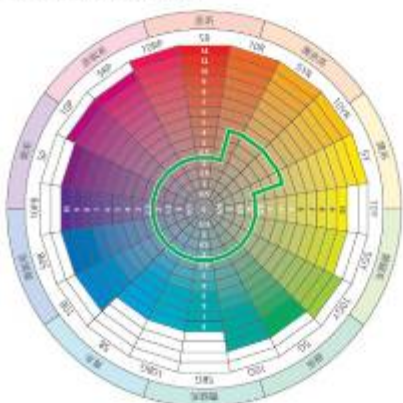


# 別表 III

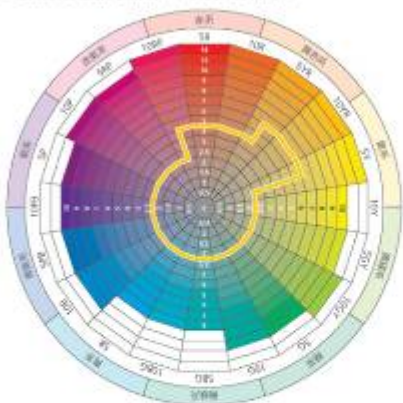
一般地区 緑との共生ゾーン内  
重点地区 裏高尾・小仏地区  
浅川沿川地区



■外壁基本色の使用可能範囲



■屋根色の使用可能範囲(明度 6.0 以下)

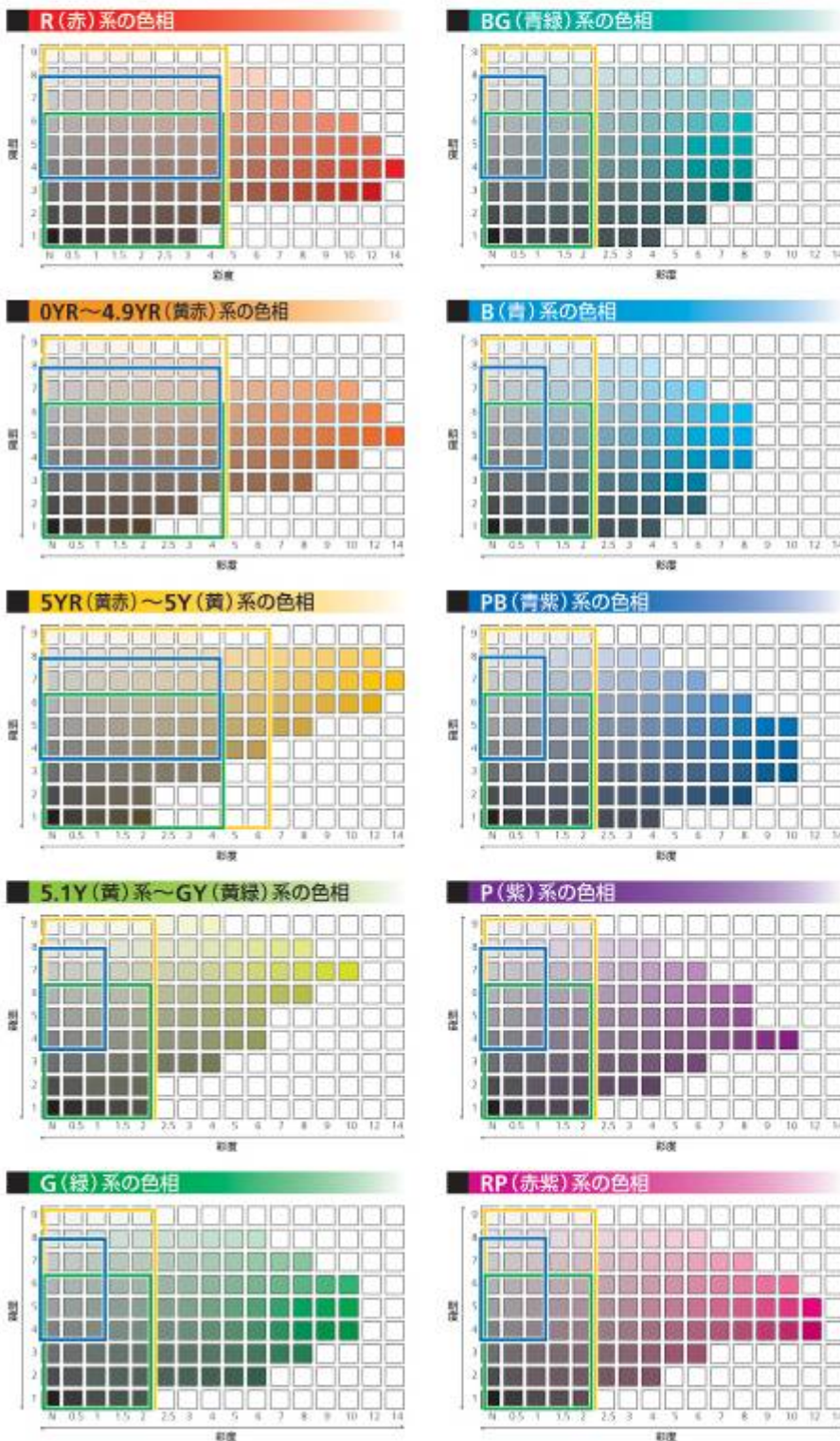


■外壁強調色の使用可能範囲

凡例	
	外壁基本色の使用可能範囲 (外壁の4/5はこの範囲から選択)
	外壁強調色の使用可能範囲 (外壁の1/5以下で使用可能)
	屋根色の使用可能範囲

基準の適用部位・面積	色相	明度	彩度
外壁基本色	0.0R ~ 5.0Y	4.0 以上 8.5 未満 (※ 1)	4.0 以下
	その他		1.0 以下
屋根色	0.0R ~ 5.0Y	6.0 以下	4.0 以下
	その他		2.0 以下
強調色 (※ 2)	0.0R ~ 4.9YR	—	4.0 以下
	5.0YR ~ 5.0Y		6.0 以下
	その他		2.0 以下

※ 1 : 高さ 10 m 未満の建築物等及び大規模建築物の高さ 10 m 未満の部分については、外壁基調色の明度を 3.0 以上 8.5 未満とする。  
※ 2 : 強調色の制限は特定大規模建築物のみとする。

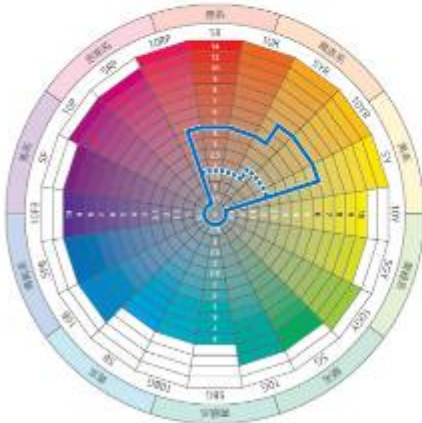


# 別表 IV

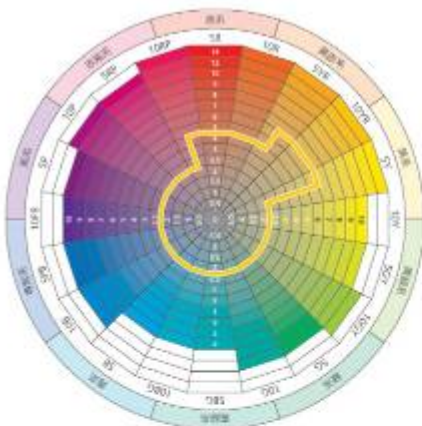
重点地区 甲州街道沿道地区

基準の適用部位・面積	色相	明度	彩度
外壁基本色	0.0R ~ 4.9YR	4.0 以上 8.5 未満の場合 8.5 以上の場合	4.0 以下 1.5 以下
	5.0YR ~ 5.0Y	4.0 以上 8.5 未満の場合 8.5 以上の場合	6.0 以下 2.0 以下
強調色(※1)	0.0R ~ 4.9YR	—	4.0 以下
	5.0YR ~ 5.0Y		6.0 以下
	その他		2.0 以下

※1：強調色の制限は特定大規模建築物のみとする。

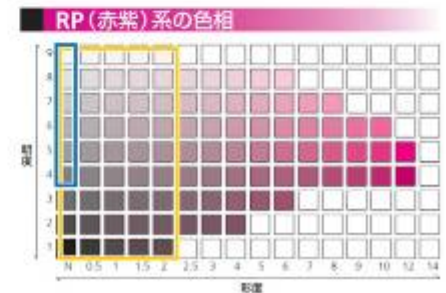
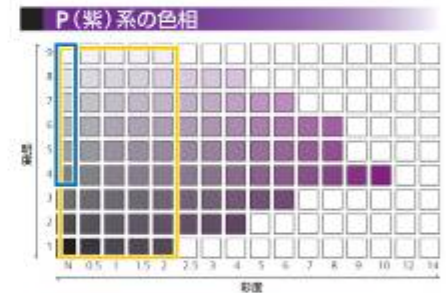
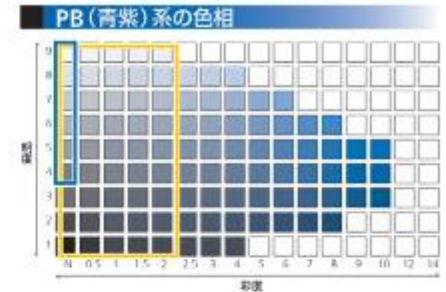
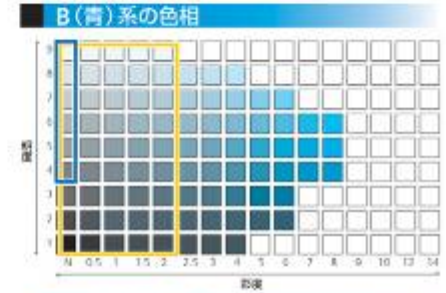
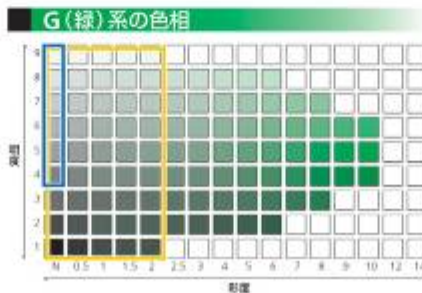
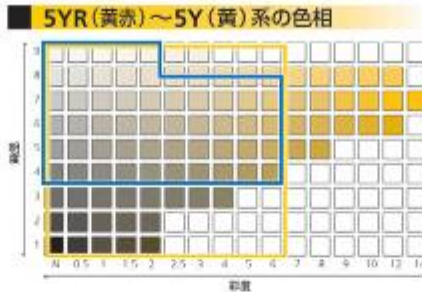
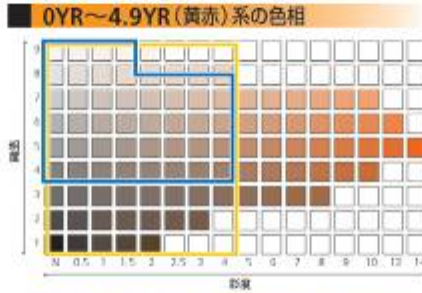
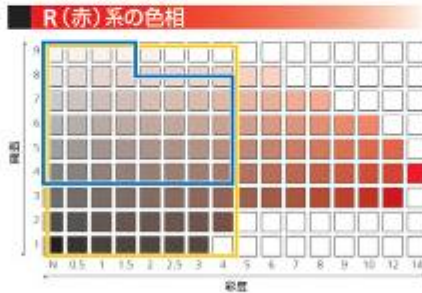


■外壁基本色の使用可能範囲  
(実線：明度3.0以上8.5未満、点線：明度8.5以上)



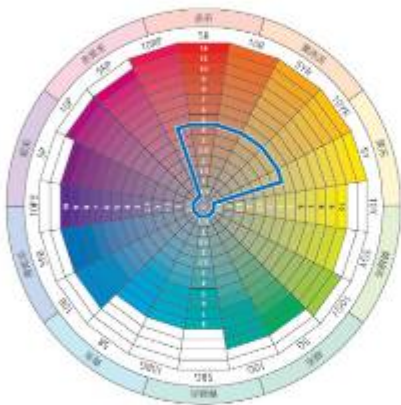
■外壁強調色の使用可能範囲

凡例	
	外壁基本色の使用可能範囲 (外壁の4/5はこの範囲から選択)
	外壁強調色の使用可能範囲 (外壁の1/5以下で使用可能)

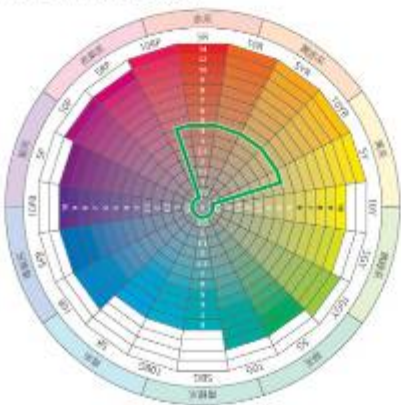


# 別表 V

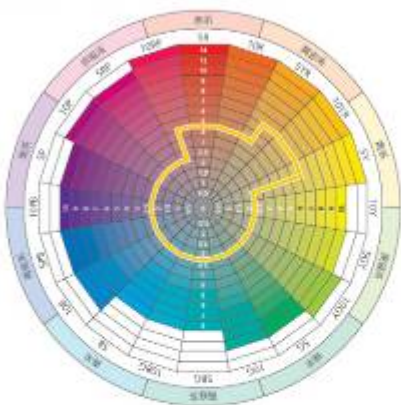
重点地区 高尾駅・多摩御陵周辺地区  
高尾山参道周辺



■ 外壁基本色の使用可能範囲



■ 屋根色の使用可能範囲（明度 6.0 以下）



■ 外壁強調色の使用可能範囲

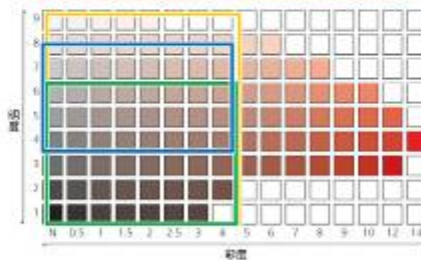
凡例

- 外壁基本色の使用可能範囲  
(外壁の4/5はこの範囲から選択)
- 外壁強調色の使用可能範囲  
(外壁の1/5以下で使用可能)
- 屋根色の使用可能範囲

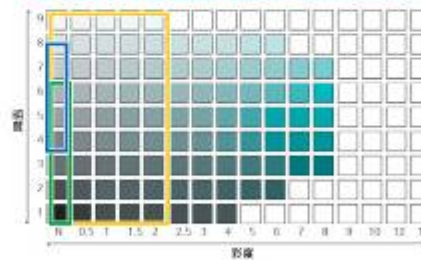
基準の適用部位・面積	色相	明度	彩度
外壁基本色	0.0R ~ 5.0Y	4.0 以上 8.5 未満 (※1)	4.0 以下
強調色 (※2)	0.0R ~ 4.9YR	—	4.0 以下
	5.0YR ~ 5.0Y		6.0 以下
	その他		2.0 以下
屋根色	0.0R ~ 5.0Y	6 以下	4.0 以下

※1：高さ 10 m 未満の建築物等及び大規模建築物の高さ 10 m 未満の部分については、外壁基調色の明度を 3.0 以上 8.5 未満とする。  
 ※2：強調色の制限は特定大規模建築物のみとする。

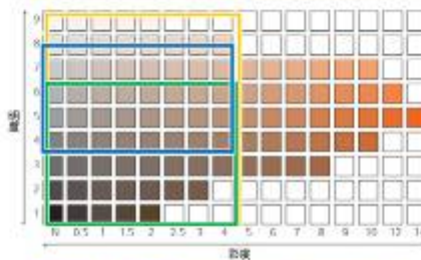
**R (赤) 系の色相**



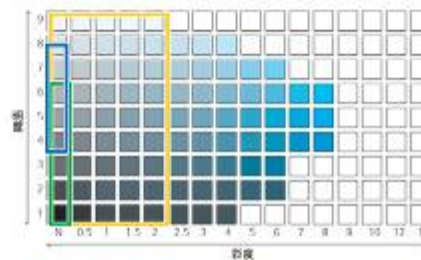
**BG (青緑) 系の色相**



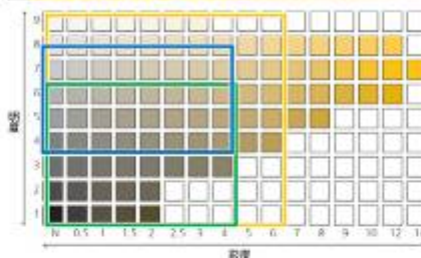
**0YR ~ 4.9YR (黄赤) 系の色相**



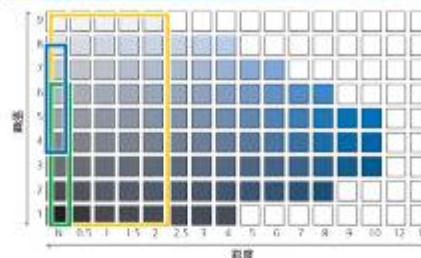
**B (青) 系の色相**



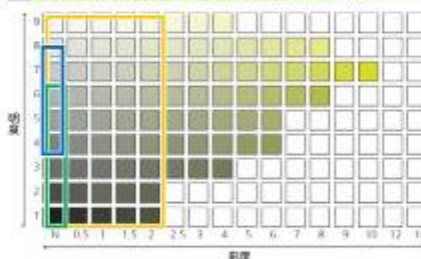
**5YR (黄赤) ~ 5Y (黄) 系の色相**



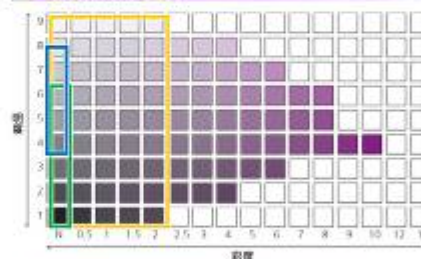
**PB (青紫) 系の色相**



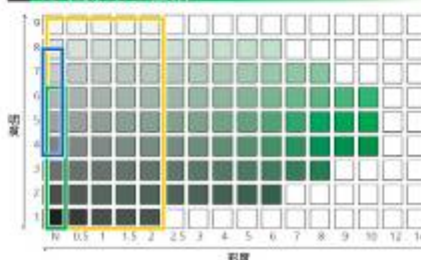
**5.1Y (黄) 系 ~ GY (黄緑) 系の色相**



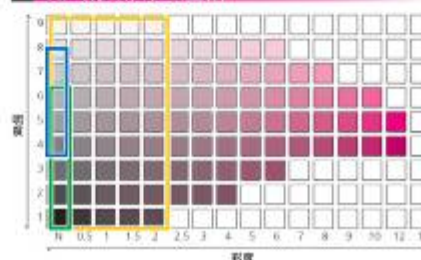
**P (紫) 系の色相**



**G (緑) 系の色相**



**RP (赤紫) 系の色相**



### 【色彩基準の適用除外について】

- 工作物の色彩については、建築物の外壁基本色の基準と同様にする。  
ただし、他の法令で使用する色彩が定められているもの、トラス構造物等で壁面と認識できないものについてはこの限りでない。
- 建築物の屋根にあつては無釉の和瓦、銅板、草葺きによるものの色彩、建築物の外壁等及び工作物にあつては着色していない木材、土壁、ガラス、レンガ等の材料によって仕上げられる部分の色彩については、この基準を適用しないことができる。
- 工作物のうち、柵類、柱類及び鉄塔については、明度 4.0 未満の色彩も使用可能とする。
- 市民となじみが深い地域のイメージの核となるもの、地域のランドマークの役割を果たしているもの、その他良好な景観の形成に貢献する等、本計画の実現に資する色彩計画については、景観審議会等の意見を聴取した上で、この基準によらないことができる。

なお、本計画に用いた色彩の解説図等は、印刷によるため図示のマンセル値とは異なる場合があります。

## 5. 屋外広告物の表示等（法第8条第2項第5号イ）

屋外広告物は、良好な景観づくりを進める上で重要な要素の1つであり、自然景観や地域のまち並みと調和した表示・掲出が求められています。このため、都市の賑わいや風格を演出し、ゆるやかな秩序が感じられるまち並みの形成、豊かな自然景観との調和を目指し、屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置に関する方針を次のとおり定めます。

### （1）共通事項

- ①屋外広告物は、その規模、位置、色彩等のデザイン等が、地域特性を踏まえた良好な景観の形成に寄与するような表示・掲出とする。
- ②建築物に設置される屋外広告物は、建築物のデザインや色彩、素材との調和を図り、統一的なデザインとなるようにする。
- ③河川や湧水池、公園やイチョウ並木等の周辺では、自然的要素と調和し潤いが感じられる景観を損ねない表示・掲出とする。
- ④文化財をはじめとする歴史的な景観資源の周辺では、その落ち着いた佇まいと調和した規模・位置、色彩等のデザインとする。
- ⑤八王子らしさを印象づける山並みや丘陵地の豊かな自然環境が観光・交流資源となっている地域では、豊かな自然環境と調和した規模、位置、色彩等のデザインとする。また、これらへの眺望を阻害しないような規模、位置、色彩等のデザインとする。
- ⑥大規模な建築物や高層の建築物における屋外広告物は、その影響が広範囲に及ぶ場合があること等から、位置、規模、色彩等のデザイン等について十分配慮する。
- ⑦駅周辺や幹線道路の交差点等の人の目線が集中する場所や、豊かな自然を活かした観光・交流地域等では、その規模や色彩が過剰にならないように配慮するとともに、激しく動光・点滅するものや液晶による表示を控える。
- ⑧住宅地や集落地等の周辺においては、その落ち着きのある景観を損ねないような表示・掲出とする。
- ⑨建築物と一体となったデザインや通りとして統一感のある屋外広告物は、まち並みの個性や魅力を高め、観光振興等にも効果があることから、広告物の地域ルールを活用した景観づくりに取り組む。

## (2) 重点地区ごとの屋外広告物に関する方針

### ①甲州街道沿道地区

賑わいの中にも、風格や親しみが感じられる景観を形成するため、屋外広告物は、建築物のデザイン等との調和を図りつつ、甲州街道の通りとして統一感の感じられる表示・掲出とする。

### ②中心市街地環境整備地区

建築物群で構成される地区や通りごとの個性を活かし、まち並みの表情をつくるよう配慮した、屋外広告物の表示・掲出とする。

### ③高尾駅・多摩御陵周辺地区

屋外広告物は、南浅川や多摩御陵への眺望等に配慮し、開放的で潤いのある自然景観を損ねない表示・掲出とする。

### ④裏高尾・小仏地区

屋外広告物は、山地に囲まれた旧甲州街道の、ふるさとも感じさせるのどかな景観を損ねない表示・掲出とする。

### ⑤高尾山参道周辺地区

高尾山の参道として、賑わいの中にも高尾山の自然と歴史文化を感じさせるまち並みとなるよう、屋外広告物は、建築物の和風のデザインとの調和を図りつつ、統一感のある参道らしさの感じられる表示・掲出とする。

### ⑥浅川沿川地区

屋外広告物は、水辺や背景となる山並み・丘陵地への眺望に配慮し、浅川の開放的で潤いのある景観を損ねない表示・掲出とする。